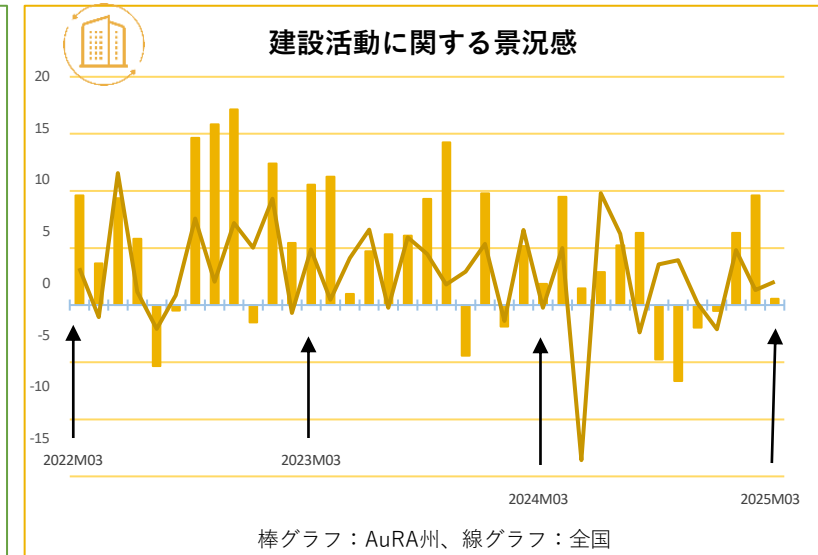
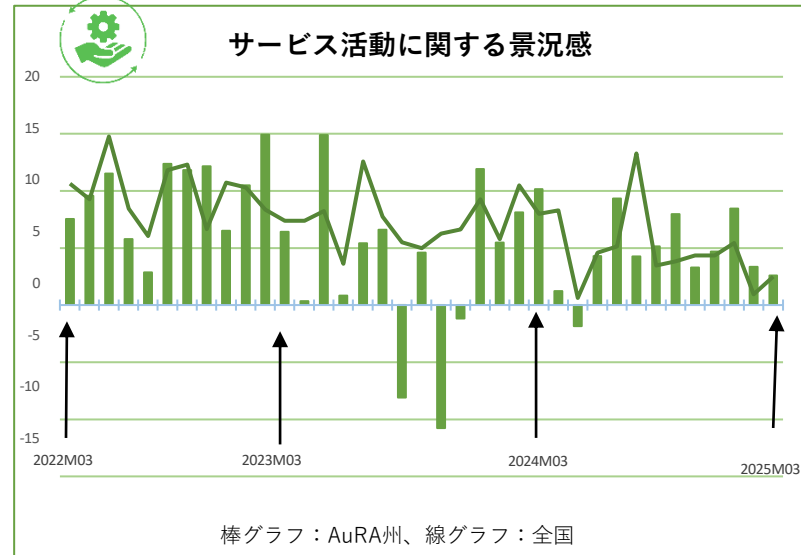
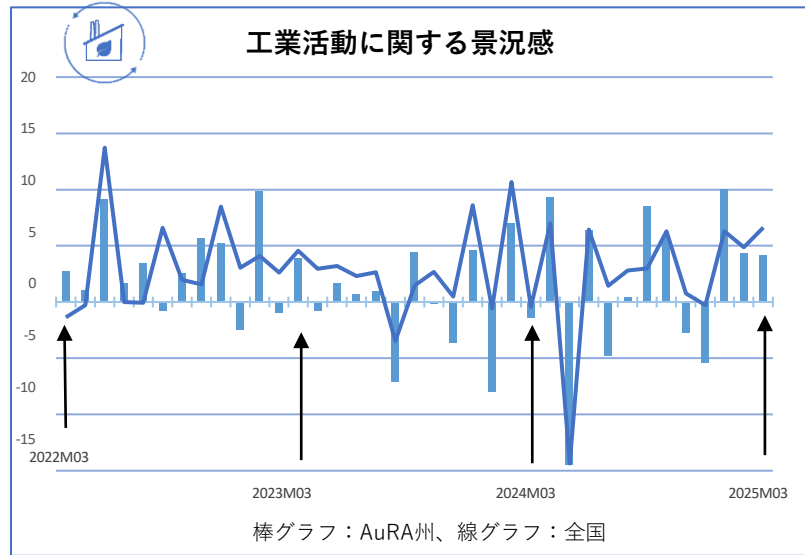


オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州における景況感調査（2025年3月）

2025年4月 在リヨン領事事務所



ポイント

- **工業部門**の景況感は3月はAuRA州でも全国でも回復した。設備稼働率は2024年末に底を打った後、回復した。販売価格はほぼ横ばいで、原材料価格はわずかに上昇した。
- **サービス部門**では、AuRA州における景況感は緩やかな伸びに留まったが、地政学的な不確実性のため、特にエンジニアリング・技術研究及び限定的であるがITセクターにおいて、新規プロジェクトの意思決定が鈍化した。ほとんどの業種で雇用は維持され、価格上昇は極めて限定的だった。
- **建設部門**の景況感は仕上工事に牽引されて州全体で安定しているが、一方で構造工事では減退している。受注残高は予想と概ね一致して減少しており、構造工事では明らかに不十分であるとみられる。見積価格は引き続き低下している。公共工事については2025年第1四半期は安定的だった。
- **4月の景況感の見通し**は慎重で、主要3部門の活動はなんとか安定を維持すると予想されている。第2四半期は公共工事の見通しのみ改善するとみられる。
- 輸送機器製造業を除き、製造業では資金繰りが改善している。しかしサービス部門では、特に陸上輸送、宿泊業、ITセクターにおいてわずかな悪化がみられる。

* 各部門におけるセクター毎の調査結果は下記の出所（仏語）をご覧ください。

- ・ フランス銀行が、AuRA州の工業、サービス業、建設・公共事業の各セクター1,150の企業と事業所を対象に、景況感について調査を実施（2025年3月27日～4月3日）。
- ・ 景況感（le solde d'opinion）とは、企業経営者による肯定的意見と否定的意見の合計を、企業の従業員数で加重平均し、各部門の付加価値で調整したもので、企業経営者による7段階評価の回答を集計した指数であり、その値は-200から+200の範囲となる。季節調整済み及び稼働日調整済みデータを使用。

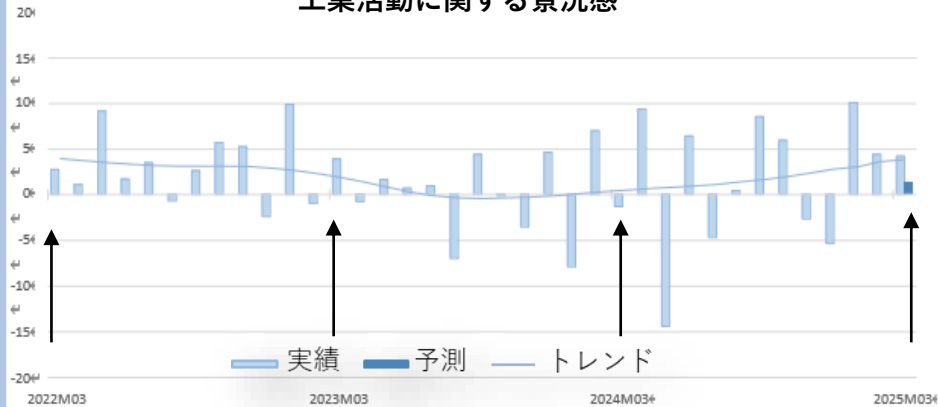
（出所：Banque de France, [Tendances régionales : Auvergne-Rhône-Alpes](#)）

オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州における景況感調査（2025年3月）

：実績、翌月の予測、トレンド



工業活動に関する景況感

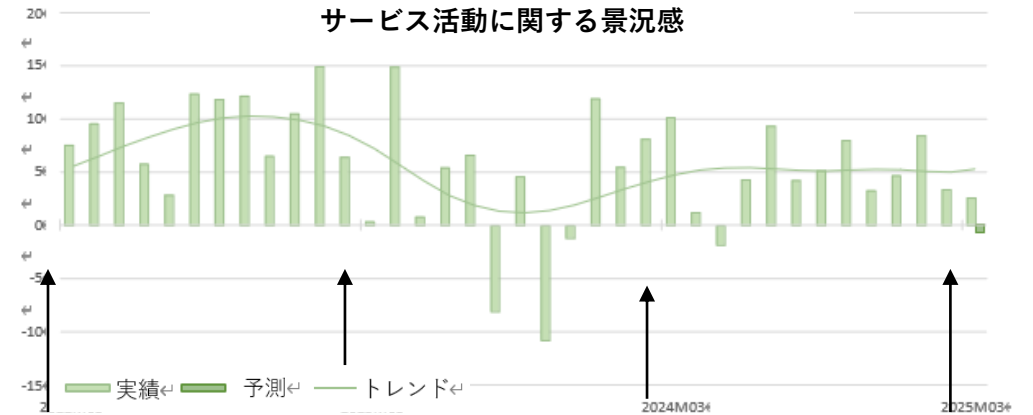


工業部門の景況感は3月も緩やかに上昇したが、セクターごとに状況は異なる。特に、情報・電子・光学機器製造及び木材、紙・段ボールセクターで大幅に減退した。逆に、化学工業、ゴム製品製造では顕著に回復。完成品の価格は3月概ね安定していたが、原材料価格はわずかに上昇した。雇用は引き続き維持されている。新規受注は国内・海外ともにほぼ変化はなく、その結果、経営者は今後の見通しに慎重で、4月の景況感は概ね安定的。

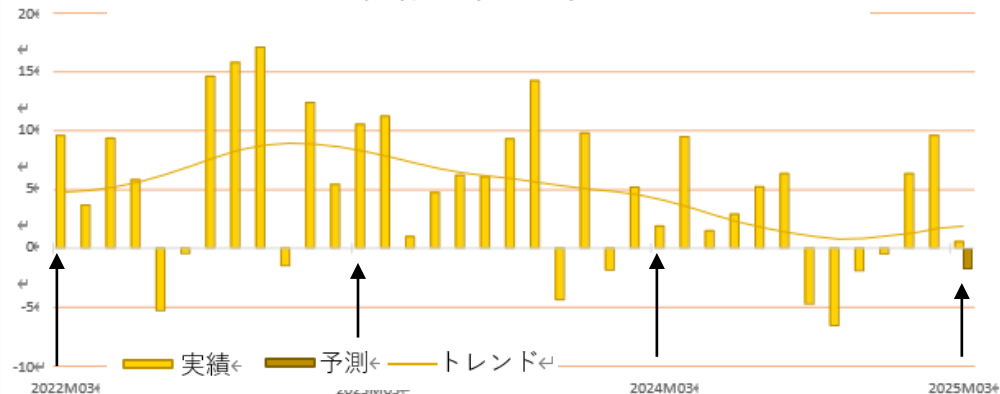


全体として3月のサービス部門の景況感は、引き続き緩やかに上昇した。ほとんどの業種は堅調な勢いを維持したが、エンジニアリング・技術研究セクターでは新規契約の締結の遅れの影響を受け、大幅に減退した。逆に、陸上貨物輸送では年初から引き続き回復している。価格変化はほとんどみられず、雇用は維持された。短期的に需要は好調に推移すると予想される。しかし、経営者の見方は慎重で、景況感は安定的である。

サービス活動に関する景況感



建設活動に関する景況感



建設部門では、仕上工事の増加が構造工事の減少を相殺し、3月の景況感は安定していた。新規受注の確保が難しいため、見積もり価格は引き続き下落傾向にある。全体として、受注残高は予想通りの水準であるが、構造工事では依然として不十分とみられる。経営者は、今後数週間は構造工事でも仕上工事でも活動が鈍化すると予測している。第1四半期の公共工事は横ばいだった。受注残高が厳しい状況であるにもかかわらず、経営者は建設プロジェクトの延期により、短期的には活動が回復すると予想している。